

化学系薬学 A会場(1441教室)

発表時刻	講演番号	受付番号	講演題目	発表者氏名	所属機関	身分
8:50-9:01	A01	K128	(+)-Axisonitrile-3の全合成研究	田村 圭司	東京理大薬	学生
9:01-9:12	A02	K009	(+)- α -Skytanthineの立体選択的合成研究	金田 京介	星薬大	学生
9:12-9:23	A03	K042	hippuristanolの合成研究	加藤 賢一郎	星薬大	学生
9:23-9:34	A04	K043	Trifarienol類の合成研究	高橋 万紀	星薬大	学生以外
9:34-9:45	A05	K082	抗腫瘍性物質Myceliothermophin Aの合成研究	山中 梓	東京理大薬	学生
9:45-9:50	PC切替					
9:50-10:01	A06	K062	マイトキシンのUVWXYZ環部の合成研究	前本 道寛	東京理大理	学生
10:01-10:12	A07	K065	マイトキシンのHIJK環及びその異性体の合成研究	神山 利彦	東京理大理	学生
10:12-10:23	A08	K061	(-)-Centrolobineの全合成	竹内 利晴	東京理大理	学生
10:23-10:34	A09	K131	海洋産アルカロイドManzamine Bの合成研究	寺内 悠樹	千葉大薬	学生
10:34-10:45	A10	K116	Schizocommuninの合成研究	木村 直	千葉大薬	学生
10:45-10:50	PC切替					
10:50-11:01	A11	K059	Neodysiherbaine A の合成研究	平井 俊弘	昭和薬大	学生
11:01-11:12	A12	K002	Atpenin類の全合成	杉山 晃平	北里大薬、北里大生命研	学生
11:12-11:23	A13	K003	Salinosporamide A の全合成研究	福田 岳夫	北里大薬	学生
11:23-11:34	A14	K066	FRETを利用したZn ²⁺ イオン蛍光センサーの設計と合成	伊石 安里	東京理大薬、東京理大DDS研究セ	学生
11:34-11:45	A15	K083	酵素モデル錯体を配置させた異核金属自己集積型超分子の構築	岸 真由美	東京理大薬、東京理大DDS研究セ	学生

化学系薬学 B会場(1442教室)

発表時刻	講演番号	受付番号	講演題目	発表者氏名	所属機関	身分
8:50-9:01	B01	K060	特異なメチル基導入反応による2-メチル環状エーテルの合成	君嶋 敦	東京理大理	学生
9:01-9:12	B02	K064	3-ヒドロキシ-2-メチレン-テトラヒドロピランの効率的合成	宮川 靖代	東京理大理	学生
9:12-9:23	B03	K056	N-ボラノニトロンを用いた分子間環化付加反応	福井 健仁	昭和薬大	学生
9:23-9:34	B04	K071	ホモプロパルギルアルコールの分子間メキシ-カルボニル化反応	本館 諭	東邦大薬	学生
9:34-9:45	B05	K107	アセチル基を有するプロパルギルアセテートの環化反応	日下部 太一	東邦大薬	学生
9:45-9:50	PC切替					
9:50-10:01	B06	K037	マンニヒ型反応を利用した2,2-ジ置換インドリノンの合成	佐藤 幸洋	明治薬大	学生
10:01-10:12	B07	K050	キラルなプロパルギルアミンを用いた立体選択的アレン合成	梅崎 智	東大院薬	学生
10:12-10:23	B08	K013	触媒的不斉ビスフォスフォネート化合物群合成法の開発	加藤 祐子	東大院薬	学生
10:23-10:34	B09	K035	希土類金属/アミド錯体による不斉Mannich型反応の開発	野尻 明宏	東大院薬	学生
10:34-10:45	B10	K084	キノリノール誘導体の光分解反応を利用した薬物徐放性リポソーム	上川 彩	東京理大薬、東京理大DDS研究セ	学生
10:45-10:50	PC切替					
10:50-11:01	B11	K008	スピロヘキサジエノン構造を有するイソキノリンの合成と転位反応	本多 利雄	星薬大	学生以外
11:01-11:12	B12	K017	PtO ₂ を用いるシクロプロパン環の還元的開裂反応	岡田 佳代子	北里大薬	学生
11:12-11:23	B13	K018	四酸化オスミウムを用いた新規酸化反応の発見と一般性の検討	津村 沙織	北里大薬	学生
11:23-11:34	B14	K111	α -アシル- γ -ヒドロキシラクタムの新規収束型合成法の開発	小早川 優	東京理大薬、東京理大DDS研究セ	学生
11:34-11:45	B15	K040	meso位を鎖状構造で連結した対面型ポルフィリン二量体の構築	魚住 亜祐美	明治薬大	学生
11:45-11:56	B16	K103	DNA四重鎖構造を誘起する6OTD二量体の合成と活性評価	飯田 圭介	東京農工大院工	学生

化学系薬学 C会場(1443教室)

発表時刻	講演番号	受付番号	講演題目	発表者氏名	所属機関	身分
8:50-9:01	C01	K109	抗アニサキス活性ジアリールアルカロイド類の合成と構造活性相関	土屋 和香子	東京理大薬	学生
9:01-9:12	C02	K068	新規抗真菌性物質SUTAF-148のEutomerの合成	宮井 貴弘	東京理大薬、東京理大DDS研究セ	学生
9:12-9:23	C03	K072	XIAP認識ペプチドを二量化したアポトーシス制御剤の開発	鈴木 旭	東京理大薬、東京理大DDS研究セ	学生
9:23-9:34	C04	K087	22S-ブチル活性型ビタミンD誘導体の合成	酒巻 雄太	昭和薬大	学生
9:34-9:45	C05	K021	インドメタシンに隠されたキラリティ	高橋 秀依	帝京大薬	学生以外
9:45-9:50	PC切替					
9:50-10:01	C06	K019	モルヒナン誘導体の作動、拮抗活性に対する17位置換基の効果	戸松 美有季	北里大薬	学生
10:01-10:12	C07	K022	ピロールモルヒナン誘導体の反応性の検討	花村 新一	北里大薬	学生
10:12-10:23	C08	K027	ナルトレキソンC16-N17切断反応とC15、16の除去	今出 慧海	北里大薬	学生
10:23-10:34	C09	K030	インドロモルヒナン誘導体における新規酸化反応および転位反応	大畠 健二	北里大薬	学生
10:34-10:45	C10	K053	抗BVDV活性を指標とした γ -カルボリン類の抗ウイルス効果	青山 洋史	東大分生研	学生以外
10:45-10:50	PC切替					
10:50-11:01	C11	K081	2-アリーール-1、3-ジカルボニル化合物の抗酸化活性	横川 めぐみ	慶応大薬	学生
11:01-11:12	C12	K085	抗HCV薬を目指した新規フラレン誘導体の合成	森 裕美子	慶応大薬	学生
11:12-11:23	C13	K005	変形菌からの天然物探索：キフシスホコリ等の成分研究	新谷 彰教	千葉大薬	学生
11:23-11:34	C14	K024	アマミヒツツバハギ由来の新規アルカロイド成分の構造と神経活性	永岡 崇史	東京医歯大生体材料工学研	学生
11:34-11:45	C15	K038	Erythrina velutina 由来のアルカロイド成分	小沢 正晃	東京医歯大生体材料工学研	学生
11:45-11:56	C16	K101	Roseophilinの生合成に関する研究	長塚 俊弥	東京理大薬	学生

生物系薬学 D会場(1444教室)

発表時刻	講演番号	受付番号	講演題目	発表者氏名	所属機関	身分
8:50-9:01	D01	K012	GPR55リガンドとしてのリゾホスファチジルイノシトール	土志田敏伸	帝京大	学生
9:01-9:12	D02	K041	c-Abl のコンフォメーション変化とクロマチン凝縮誘導	青山和正	千葉大	学生
9:12-9:23	D03	K077	癌遺伝子 v-Src の細胞内オルガネラでの発現解析	田村直樹	千葉大	学生
9:23-9:34	D04	K004	細胞分裂の進行におけるSrc型チロシンキナーゼの関与	松井優紀	千葉大	学生
9:34-9:45	D05	K045	核局在 Src 型チロシンキナーゼを介したユークロマチン化	高橋明格	千葉大	学生
9:45-9:50	PC切替					
9:50-10:01	D06	K058	シスモジュールデータベースを用いた転写制御システムの解析	信原麻衣	東京理大	学生
10:01-10:12	D07	K070	転写因子が結合する塩基配列の保存性と結合部位立体構造の相関	蟻浪敦	東京理大	学生
10:12-10:23	D08	K093	転写因子-DNA複合体におけるアミノ酸-塩基結合パターン解析	沖原伶佳	東京理大	学生
10:23-10:34	D09	K074	脂肪細胞におけるPPAR γ 発現に及ぼす性ホルモンの影響	菅井波名	千葉大	学生
10:34-10:45	D10	K117	ヒストンメチル化修飾とリボソームRNA転写	常岡誠	高崎健康福祉大	学生以外
10:45-10:50	PC切替					
10:50-11:01	D11	K015	ミクログリア細胞表面ヌクレオリンのベータアミロイド除去機能	中村卓史	東京薬大	学生
11:01-11:12	D12	K007	ラット各種臓器に存在するリゾホスファチジルイノシトールの分析	丸山可奈子	帝京大	学生
11:12-11:23	D13	K046	フェニルアラニンの血液脳関門輸送に及ぼす脳虚血/再灌流の影響	宮崎由美子	日大	学生
11:23-11:34	D14	K069	パーキンソン病態時における薬物の脳内取り込み輸送の変化	山本拓真	日大	学生

生物系薬学 E会場(1445教室)

発表時刻	講演番号	受付番号	講演題目	発表者氏名	所属機関	身分
8:50-9:01	E01	K006	ヌクレオリンに結合する生体内タンパク質の網羅的解析	松本達也	東京薬大	学生
9:01-9:12	E02	K023	ハムスター脂腺細胞のアポトーシス耐性および皮脂分泌促進機構	栗原弘和	東京薬大	学生
9:12-9:23	E03	KA01	ドキシソルビシンおよびグルタチオン修飾ドキシソルビシンによるアポトーシス誘導メカニズム解析	鈴木隆晴	慶應大	学生
9:23-9:34	E04	K090	アポトーシス誘導経路におけるNGALRの機能解析	佐伯和徳	東京理大	学生
9:34-9:45	E05	K073	DNA損傷誘導性アポトーシスにおけるChk1限定分解の制御	吉村美幸	東京理大	学生
9:45-9:50	PC切替					
9:50-10:01	E06	K010	超音波温熱療法と免疫療法の併用による抗腫瘍効果	塩野康行	帝京大	学生
10:01-10:12	E07	K055	RNase1検出による膵がんの診断法に関する研究	渡邊聖崇	東京理大	学生
10:12-10:23	E08	K108	コネキシン32遺伝子と化学療法薬の癌増殖抑制効果に関する検討	高野泰幸	千葉大	学生
10:23-10:34	E09	K078	ヒト白血病細胞の分化誘導過程でのヒストン修飾関連因子の解析	曾根裕己	東京理大	学生
10:34-10:45	E10	K026	ガン転移促進因子EMMPRINのラフト依存的遺伝子発現調節	石井美和	東京薬大	学生
10:45-10:50	PC切替					
10:50-11:01	E11	K122	計算科学の応用による新規アポトーシス経路の探索	酒井潤一	東京理大	学生
11:01-11:12	E12	K129	複数のドッキングアルゴリズムを用いた最適複合体構造予測法	佐藤優季	東京理大	学生
11:12-11:23	E13	K016	サポートベクターマシンによるSLCトランスポーターの基質同定	荒川貴行	東京理大	学生

生物系薬学 F会場(1411教室)

発表時刻	講演番号	受付番号	講演題目	発表者氏名	所属機関	身分
8:50-9:01	F01	KA02	エラスチンノックアウトマウスにおける動脈平滑筋細胞の変化	藍義孝	星薬大	学生
9:01-9:12	F02	K134	老化促進モデルマウスR1系のAIN93G飼育による肝障害	高橋良哉	東邦大	学生以外
9:12-9:23	F03	K014	ビタミンCが足りないと老化が進む	石神昭人	東邦大	学生以外
9:23-9:34	F04	K132	四塩化炭素誘発肝障害に及ぼす活性酸素消去物質の影響	橋本崇広	東京理大	学生
9:34-9:45	F05	K139	高血糖状態のマウスにおける血管内皮細胞の血液凝固制御について	三浦将人	帝京大	学生
9:45-9:50	PC切替					
9:50-10:01	F06	K136	DDHD1による生理活性リポリン脂質の産生	熊澤司紗	帝京大	学生
10:01-10:12	F07	K120	RFP-PLGA微粒子製剤の抗結核菌作用におけるTNFの影響	曾根正喜	東京理大	学生
10:12-10:23	F08	K067	LPSシグナル伝達経路に及ぼす甘草含有カルコン類の影響	古澤純一	慶應大	学生
10:23-10:34	F09	K089	特発性血小板減少性紫斑病へのヒト免疫グロブリン作用機序の解析	鈴木絵美子	東京理大	学生
10:34-10:45	F10	K044	マスト細胞におけるIII型分泌性ホスホリパーゼA2の機能解析	川名桃子	昭和大	学生
10:45-10:50	PC切替					
10:50-11:01	F11	K126	マクロファージによる微粒子製剤の取り込み機構の検討	長尾剛志	東京理大	学生
11:01-11:12	F12	K011	マクロファージ表面ヌクレオリンのスカベンジャーレセプター機能	鍋村実希	東京薬大	学生
11:12-11:23	F13	K124	活性化肺胞マクロファージによる肺がん細胞傷害機構	谷口裕亮	東京理大	学生
11:23-11:34	F14	K025	プロスタグランジンE合成酵素の胃粘膜保護作用への関与の解析	林寛子	昭和大	学生

医療系薬学 G会場(1511教室)

発表時刻	講演番号	受付番号	講演題目	発表者氏名	所属機関	身分
9:50-10:01						
10:01-10:12	G01	K001	NAT2遺伝子多型を考慮したイソニアジドの投与設計について	平井成和	千葉大	学生
10:12-10:23	G02	K063	両親媒性物質との分子複合体化を利用した薬物の皮膚吸収性の改善	飯村菜穂子	新潟薬大	学生以外
10:23-10:34	G03	K049	生体活性化セメントのin vitro骨代謝に及ぼす影響	武藤奈々美	千葉大	学生
10:34-10:45	G04	K052	ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の腎癌細胞株に対する抗腫瘍活性	奥澤紘子	千葉大	学生
10:45-10:50			PC切替			
10:50-11:01	G05	K075	緑茶カテキンの軟骨細胞に与える影響の検討	池田和也	千葉大	学生
11:01-11:12	G06	K091	痒み反応におけるhistamine H4受容体の関与	織田 学	千葉大	学生
11:12-11:23	G07	K088	保険薬局における新たな医師地域医療研修の取り組み	仲栄真さつき	千葉大	学生
11:23-11:34	G08	K095	打錠用杵及び医薬品の表面物性評価による杵付着現象の予測	根建祐一	東邦大	学生

環境衛生系薬学 H会場(1311教室)

発表時刻	講演番号	受付番号	講演題目	発表者氏名	所属機関	身分
8:50-9:01	H01	K100	水試料から得られたXAD抽出有機物の組成とその安全性評価	菅野文子	東京理大	学生
9:01-9:12	H02	K102	合成ムスク系香料の塩素処理による分解生成物	富澤朋絵	東京理大	学生
9:12-9:23	H03	K104	COX阻害活性を用いた水環境における生態影響評価法の検討	西以和貴	東京理大	学生
9:23-9:34	H04	K138	焼却過程におけるダイオキシン類の生成と抑制	岸 智裕	東京理大	学生
9:34-9:45	H05	K094	ニトロフラン系抗菌剤の塩素処理水中での消長と変異原性変化	河上強志	東京理大	学生以外
9:45-9:50	PC切替					
9:50-10:01	H06	K047	活性酸素の生成と代謝との関係	加賀美信幸	老人研	学生
10:01-10:12	H07	K036	ディーゼル排ガス胎仔期曝露が中枢神経系に及ぼす影響	横田 理	東京理大	学生
10:12-10:23	H08	K113	精巣特異的マイクロアレイと精巣毒性評価	高橋 光	東京理大	学生
10:23-10:34	H09	K115	ラット子宮内膜症モデルに及ぼすディーゼル排ガス曝露の影響	田中奈央美	東京理大	学生
10:34-10:45	H10	K121	ディーゼル排ガス胎仔期曝露はマウス精子形成過程を障害する	小野なお香	東京理大	学生
10:45-10:50	PC切替					
10:50-11:01	H11	K020	放射線照射によるプリン介在型細胞間情報伝達機構の解明	本間拓二郎	東京理大	学生
11:01-11:12	H12	K079	放射線適応応答の分子機構に関する研究	柿本彩七	東京理大	学生
11:12-11:23	H13	K130	I-125-IBPCOSを用いた腫瘍内低酸素領域の画像化	武藤泰子	国立がんセンター	学生以外
11:23-11:34	H14	K133	高比放射能のテクネチウム錯体を与える新規標識薬剤の開発	平林正次	千葉大	学生
11:34-11:45	H15	K140	オクタアルギニン修飾は標識抗体の標的集積性を向上する	宮本 怜	千葉大	学生
11:45-11:56	H16	K141	放射性コバルト体内汚染の除染薬剤に関する検討	納富彩子	千葉大	学生

物理系薬学 I会場(セミナーハウス第6ゼミ室)

発表時刻	講演番号	受付番号	講演題目	発表者氏名	所属機関	身分
8:50-9:01	I01	K029	アビジン修飾磁性ビーズを活用したSNP解析法の開発	入江弘太	東京理大	学生
9:01-9:12	I02	K031	リポソーム増感法に基づくDNAの高感度検出	板倉しおり	東京理大	学生
9:12-9:23	I03	K032	金属を活用するCO2固定化の試み	柳瀬裕一郎	東京理大	学生
9:23-9:34	I04	K033	アスパルテームと食品添加物との反応性	武井彰宏	東京理大	学生
9:34-9:45	I05	K028	アスパルテーム添加物の吸湿性に関するNIRS研究	橋本佳奈	東京理大	学生
9:45-9:50	PC切替					
9:50-10:01	I06	K051	ダイエットサプリメント中のシネフリン及びカフェインの同時分析	谷戸雅和	星薬大	学生
10:01-10:12	I07	K114	LC/MS-MSによるPVC製医療機器から溶出する可塑剤分析	中村博子	星薬大	学生
10:12-10:23	I08	K086	温度応答性クロマトグラフィーによる麻酔薬の動態解析	鈴木理恵	慶應大	学生
10:23-10:34	I09	K054	Distribution of nanoparticles	Sagar Mohan Agnihotri	東京理大	学生以外
10:34-10:45	I10	K096	混合粉碎によるナノ粒子の形成機構及び放出制御に関する検討	鈴木直人	日本大	学生
10:45-10:50	PC切替					
10:50-11:01	I11	K039	MALDI-TOFMSを用いたGAGの質量分析	坂本典子	千葉大	学生
11:01-11:12	I12	K048	ビクニン由来コンドロイチン硫酸の糖鎖配列解析	成田直浩	千葉大	学生
11:12-11:23	I13	K080	新規ヘパラン硫酸結合タンパク質の探索	荒木勇樹	千葉大	学生
11:23-11:34	I14	K119	酵素法における赤血球凝集反応	兵野 篤	東京理大	学生

物理系薬学 J会場(セミナーハウス講堂)

発表時刻	講演番号	受付番号	講演題目	発表者氏名	所属機関	身分
8:50-9:01	J01	K105	肺胞マクロファージを標的としたPLGA微粒子製剤の肺内挙動	廣田慶司	東京理大	学生以外
9:01-9:12	J02	K123	インドメタシンの溶解性に与えるリドカインの影響	島田洋輔	東京理大	学生
9:12-9:23	J03	K137	インドメタシンの加熱に伴う変化:酸化と光化学反応	橋本泰之	東京理大	学生
9:23-9:34	J04	K125	QCMセンサーを用いたPAS反応糖鎖の定量的検出	本間明子	東京理大	学生
9:34-9:45	J05	K127	レクチンの糖タンパク質認識:QCM法による熱力学的パラメータ	馬場充康	東京理大	学生
9:45-9:50	PC切替					
9:50-10:01	J06	K092	表面自由エネルギーからみたHPMCのグレード間差	山根弓佳	東邦大	学生
10:01-10:12	J07	K097	エレクトロスプレーデポジション法を用いた固体分散体の調製検討	田島春奈	東邦大	学生
10:12-10:23	J08	K099	固体NMRによる固体分散体中の薬物の安定性に関する研究	多久和崇史	東邦大	学生
10:23-10:34	J09	K106	顕微ラマンスペクトルを用いた水和物の脱水速度解析	久木康爾	東邦大	学生
10:34-10:45	J10	K112	粉末X線構造解析を用いたアクリノール無水物の相転移現象の解明	井戸田尚子	東邦大	学生
10:45-10:50	PC切替					
10:50-11:01	J11	K034	植物ステロール用MIP充填剤の開発	引野理子	東京理大	学生
11:01-11:12	J12	K135	糖結合サイトでのリガンドとの分子間相互作用の幾何学的モデル化	増田 修	東工大	学生
11:12-11:23	J13	K110	微生物トランスポーター遺伝子機能予測への符号理論の応用	高島秀也	東京理大	学生